

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント

コード番号 8769 URL <http://www.armg.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鳥越慎二

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 筒井 努

TEL 03-5794-3800

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	577	△1.2	△6	—	△10	—	△54	—
23年3月期第1四半期	584	△4.2	13	△31.3	9	△34.0	△3	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △51百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△346.69	—
23年3月期第1四半期	△18.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,588	1,051	40.6
23年3月期	2,943	1,119	38.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,051百万円 23年3月期 1,119百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,270	△2.7	80	△24.6	70	△27.8	0	△100.0	0.00
通期	2,610	△1.6	250	15.9	230	15.0	110	32.7	699.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	163,747 株	23年3月期	163,747 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,526 株	23年3月期	6,526 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	163,747 株	23年3月期1Q	163,747 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期報告書については有限責任監査法人トーマツによるレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、添付資料のP.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の停滞や個人消費の低迷に加え、欧州財政危機による景気減速懸念の増大など、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況において、当社は、「『安心して働ける環境』と『活力ある個と組織』を共に創る」という経営理念に基づき、精神的な疾患が原因で働けなくなるリスクの軽減と社員の生産性の向上を目的としたメンタルヘルスケアの各種サービスの販売・新サービスの開発や、GLTD（団体長期障害所得補償保険）を利用した働けなくなるリスクに対するセーフティネットの導入等に積極的に取り組みました。当期間の売上につきましては、就業障がい者支援事業の事務アウトソーシング部門における損害保険会社の経営統合を契機とした業務内製化の進展、及び、前期末に実施したリスクファイナンス事業の一部譲渡による収入源の縮小がありましたが、メンタルヘルスケア事業において平成22年7月に譲受したEQ事業の寄与により、全体の減収分をほぼカバーいたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は577百万円（前年同期比1.2%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益13百万円）、経常損失は10百万円（前年同期は経常利益9百万円）となりました。なお、平成23年3月に行ったリスクファイナンス事業の一部譲渡において、当社が提供した重要情報の一部に不備があり、譲渡先から損害補償請求を受けておりますが、最終的な金額が確定しておりませんので、現時点での合理的な見積もり金額である損害補償引当金繰入額60百万円を特別損失として計上いたしました結果、四半期純損失は54百万円（前年同期は四半期純損失3百万円）となりました。

報告セグメントの業績は以下の通りです。

(メンタルヘルスケア事業)

当事業におきましては、メンタルタフネスの強化・改善による組織の活性化、及び、メンタルヘルス不調の予防から発症者対応、休職後の復職支援まで様々なニーズに対応できる商品・サービスを提供しております。前期より販売を開始した「アドバンテッジタフネス」につきましては、既存の商品からの切替えならびに新規顧客にて導入が開始されたほか、EQ事業における採用アセスメントと当社の既存商品を組み合わせた新しい採用アセスメントツール「アドバンテッジ インサイト」についても導入が進んでいるなど、積極的に新商品の開発・提供に取り組んでおります。一方で、大企業・中堅企業をターゲットとした営業活動に関しましては、担当企業制の導入に伴う顧客との継続的なコンタクトによるグリップ強化により、既存顧客との取引深耕ならびに営業ノウハウの有効活用による新規顧客の開拓が進展しております。これらの活動により、メンタルヘルスケアの各種サービスの利用者数は、平成23年6月末現在で約85万2千人となっております。

EQ事業の売上への寄与等の一方で、今後の成長に向けた積極的な投資等の費用増加の結果、メンタルヘルスケア事業の売上高は318百万円（前年同期比28.8%増）、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(就業障がい者支援事業)

GLTDの新規顧客に対する販売につきましては、企業ニーズに適時に対応できるように担当企業制を導入し、各種のチャネルを利用しながら、新規顧客の開拓を進めてまいりました。また、GLTDの既存顧客に関しましては、一部の企業において契約の解除や契約の移管が見られるものの、引き続き加入者数増加施策やグループ企業への拡大提案、契約内容の見直しを含めた今後の更なる飛躍に向けた各種の業務改善等を実施いたしました。これらの活動により、GLTDの加入者数は平成23年6月末現在で、約31万7千人となっております。一方で、GLTDに関する保険会社からの事務アウトソースに関しましては、前述の通り、損害保険会社の経営統合を契機とした業務内製化の進展などにより、大幅な減少傾向にあります。

事務アウトソース部門縮小の影響の一方で、前期に実施した事務アウトソースサービスを提供するためのシステムの減損処理による償却費用減少等により、就業障がい者支援事業の売上高は160百万円（前年同期比20.5%減）、営業利益は42百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(リスクファイナンス事業)

当事業におきましては、主に個人を対象として保険を販売しておりますが、引き続きオペレーション業務の改善やサービスの見直し等、より一層効率的な事業運営を行うために各種の施策を実施しております。なお、当社の成長事業であるメンタルヘルスケア事業ならびに就業障がい者支援事業と関連の薄い、一部の個人向けならびに法人向け保険に関しましては、成長分野への経営資源の集中を図るという戦略的な観点から、平成23年3月に事業譲渡を実施いたしました。

事業の一部譲渡による減収の一方で、人員配置の見直し等による費用圧縮を行った結果、リスクファイナンス

グ事業の売上高は98百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益は76百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は前連結会計年度末より355百万円減少し、2,588百万円となりました。流動資産は314百万円減少し、1,342百万円となりました。これは主に、リスクファイナンス事業譲渡による未収入金の回収が行われ現金及び預金が増加したものの、契約者からの保険料の入金条件等により、保険会社の所有物である契約者から領収した保険料にあたる保険代理店勘定が減少したことによるものです。固定資産は40百万円減少し、1,245百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産が償却により減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より288百万円減少し、1,536百万円となりました。流動負債は215百万円減少し、1,294百万円となりました。これは主に、一部サービスにおいて、代金回収条件が前受けとなっていることによる前受収益の増加があった一方で、契約者からの保険料の入金条件等により、保険会社の所有物である契約者から領収した保険料にあたる保険料預り金が減少したことによるものです。固定負債は72百万円減少し、241百万円となりました。これは主に、返済により長期借入金が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より67百万円減少し、1,051百万円となりました。これは主に、配当の実施や第1四半期連結累計期間の経営成績の結果により利益剰余金が減少したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は43.4%となります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成23年8月9日に開示した「特別損失の計上及び第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、特別損失発生の影響を鑑みて修正いたしました。なお、通期の業績予想については、当初の予定通り順調に推移するものと考え、前回発表の業績予想に変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	295,668	655,342
受取手形及び売掛金	439,808	400,474
保険代理店勘定	541,080	166,957
繰延税金資産	41,024	68,516
その他	356,028	67,596
貸倒引当金	△16,267	△16,267
流動資産合計	1,657,343	1,342,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,164	74,761
減価償却累計額	△33,461	△34,075
建物及び構築物(純額)	48,702	40,686
工具、器具及び備品	132,335	131,101
減価償却累計額	△93,151	△97,112
工具、器具及び備品(純額)	39,184	33,989
有形固定資産合計	87,886	74,675
無形固定資産		
のれん	689,665	673,863
ソフトウェア	245,743	235,668
ソフトウェア仮勘定	3,000	7,000
その他	99,334	95,357
無形固定資産合計	1,037,743	1,011,889
投資その他の資産		
投資有価証券	27,270	32,247
敷金及び保証金	110,946	108,618
繰延税金資産	17,709	14,554
その他	5,028	4,001
投資その他の資産合計	160,956	159,421
固定資産合計	1,286,586	1,245,986
資産合計	2,943,929	2,588,607

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント (8769) 平成24年3月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	318,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	284,058	280,758
未払法人税等	8,758	1,552
前受収益	148,650	318,062
保険料預り金	541,080	166,957
賞与引当金	22,194	24,531
損害補償引当金	—	60,000
その他	187,507	223,022
流動負債合計	1,510,248	1,294,884
固定負債		
長期借入金	295,436	225,359
資産除去債務	17,155	14,750
その他	1,853	1,655
固定負債合計	314,445	241,764
負債合計	1,824,694	1,536,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	249,987	249,987
資本剰余金	201,580	201,580
利益剰余金	713,509	643,279
自己株式	△45,599	△45,599
株主資本合計	1,119,477	1,049,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△241	2,709
その他の包括利益累計額合計	△241	2,709
純資産合計	1,119,235	1,051,957
負債純資産合計	2,943,929	2,588,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	584,602	577,629
売上原価	126,125	131,769
売上総利益	458,476	445,859
販売費及び一般管理費	444,642	452,778
営業利益又は営業損失(△)	13,834	△6,919
営業外収益		
受取配当金	438	442
その他	33	134
営業外収益合計	471	576
営業外費用		
支払利息	5,133	4,040
営業外費用合計	5,133	4,040
経常利益又は経常損失(△)	9,172	△10,383
特別損失		
損害補償引当金繰入額	—	60,000
減損損失	—	7,205
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,438	—
その他	—	3,183
特別損失合計	5,438	70,388
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,734	△80,771
法人税、住民税及び事業税	97	97
法人税等調整額	6,674	△26,362
法人税等合計	6,772	△26,264
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,038	△54,507
四半期純損失(△)	△3,038	△54,507

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント (8769) 平成24年3月期 第1四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,038	△54,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,453	2,951
その他の包括利益合計	△1,453	2,951
四半期包括利益	△4,491	△51,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,491	△51,555
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタルヘルス ケア事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	247,450	202,184	134,967	584,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	247,450	202,184	134,967	584,602
セグメント利益 又は損失(△)	△5,699	39,920	87,337	121,558

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,558
全社費用(注)	△107,723
四半期連結損益計算書の営業利益	13,834

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタルヘルス ケア事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	318,710	160,776	98,141	577,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	318,710	160,776	98,141	577,629
セグメント利益 又は損失(△)	△16,095	42,761	76,852	103,517

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,517
全社費用(注)	△110,437
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△6,919

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「メンタルヘルスケア事業」において、事務所移転に伴い、当該資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7,205千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。